

マジッククリアファイルとはクリアファイルの透明性を活かして、書類の抜き差しによってデザインが変わるクリアファイルです。

ex.

書類を入れたとき



書類を  
抜くと...

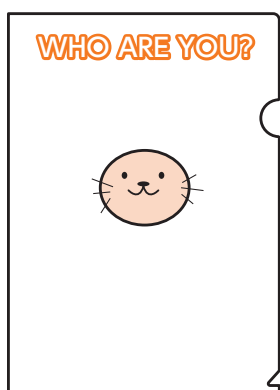


書類を抜いたとき

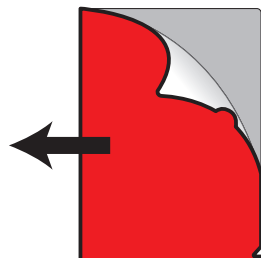


デザインが  
変わる!

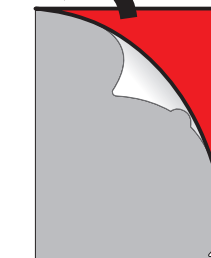
カラーデータはこうなっています!



表面にくるデザイン  
(紙を入れても見える)

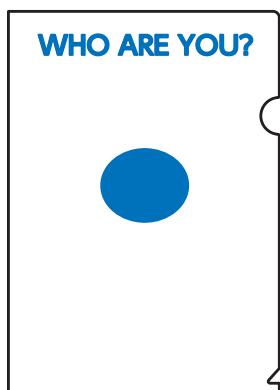


中面にくるデザイン  
(紙を入れると見えない)

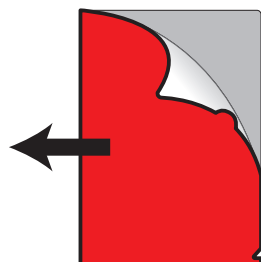


白データはこうなっています!

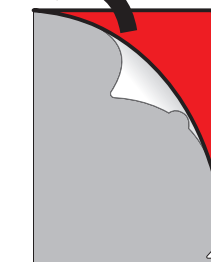
青色とピンク色の部分に白が印刷されます。



白データ1 (表面)  
White



白データ2 (中面)  
White2



※データ上の見た目は青色とピンク色になりますが、印刷は白インキで行います。

## ○データ入稿について○

弊社テンプレートを使用いただき、**AI**もしくは**PSD**形式でご入稿ください。

※**絵柄や白版がズレていないか、入稿前にご確認ください。**

マジッククリアファイルの入稿データは

「カラーデータ」、「**白データ1**」、「**白データ2**」の3つの印刷用データが必要です。

### ●Illustrator の場合

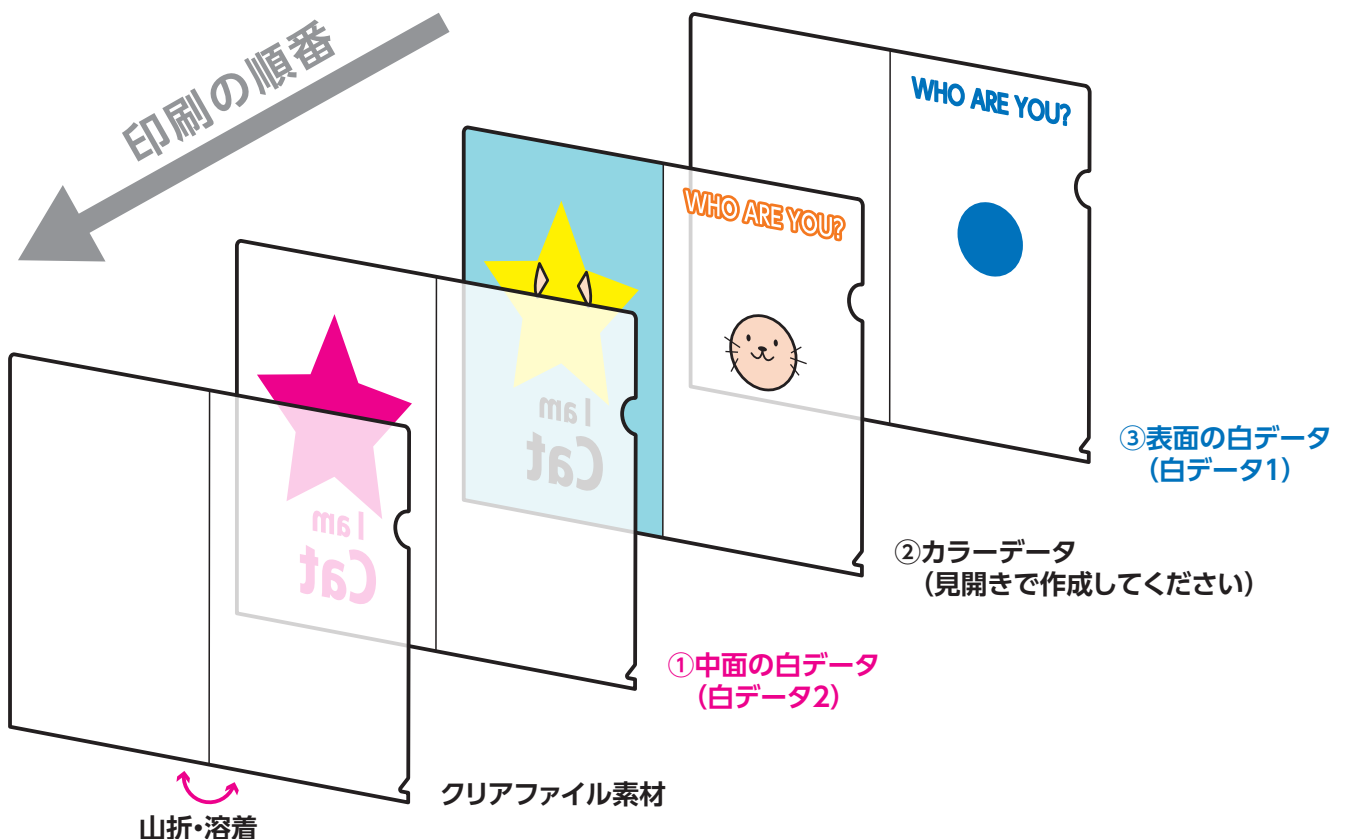
レイヤー名「Color」(カラーデータ)、「**White**」(**白データ1**)、「**White2**」(**白データ2**)でレイヤーを分けてデータ作成いただき、1つのaiファイルでご入稿ください。

### ●Photoshop の場合

データ作成後、「カラーデータ」、「**白データ1**」、「**白データ2**」を別々のファイルに分けてご入稿ください。

## ○データの印刷順について○

弊社では**中面から**①～③の順番で印刷を行います。



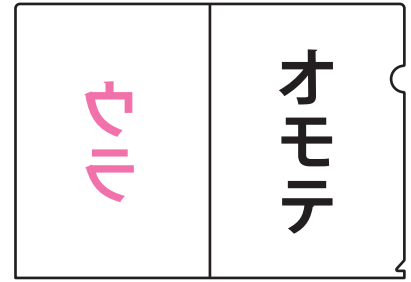
カラーデータをひとつにまとめ、白データをふたつに分けるのはそのためです。

# ○データ作成時のご注意点○

## ◆テンプレートについて

当社テンプレートは印刷の関係上、クリアファイルを展開したかたちになっています。**裏面(中面)にあたるデザインは裏面に反転してください。**

デザインはセンター折り目ぴったりに作成いただくときれいに仕上がります。

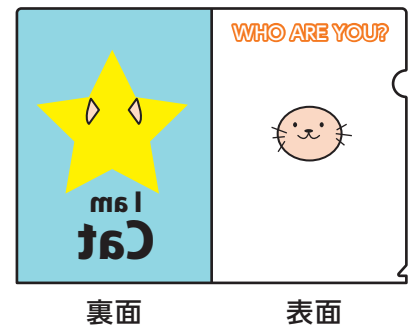


## ◆カラーデータ

カラーデータは、見開きでデータを作成してください。

表面にくるデザインを向かって右側に、中面にくるデザインを向かって左側に配置してください。

※中面にくるデザインは、反転して裏面部分に配置してください。



## ◆白データ1(表面の白版データ)

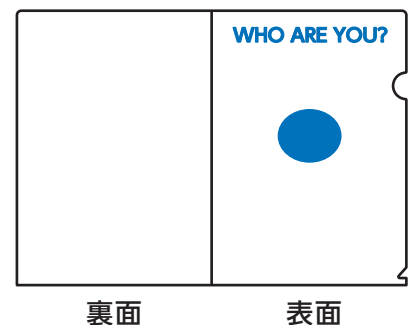
**表面のみ**にデータ作成してください。

### ●Illustrator の場合

特色[White(C100%, M50%)※青色]を使用し、「White」レイヤーにデータを作成してください。

### ●Photoshop の場合

ダブルトーン[White(C100%,M50%)※青色]でデータを作成してください。



## ◆白データ2(裏面の白版データ)

**裏面のみ**にデータ作成してください。

### ●Illustrator の場合

特色[White2(M100%)※ピンク色]を使用し、「White2」レイヤーにデータを作成してください。

### ●Photoshop の場合

ダブルトーン[White2(M100%)※ピンク色]でデータを作成してください。



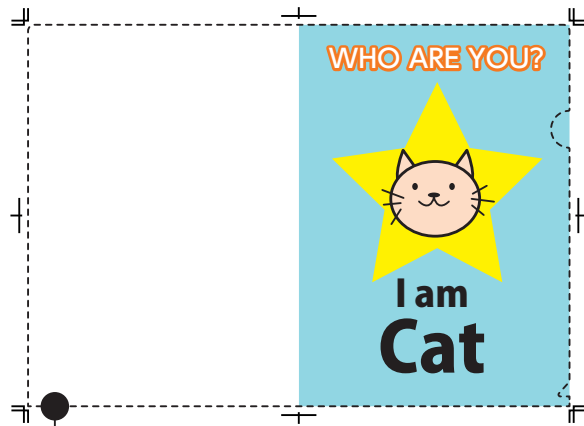
# ○オススメの作成方法○

1

当社テンプレートの表面に、紙を抜いた状態のデザインを考えます。



仕上がり想像図



製品になったときのガイドが引かれています。  
(仕上がり線といいます)

2

次に、「表面にくるデザイン」、「中面にくるデザイン」を分けます。

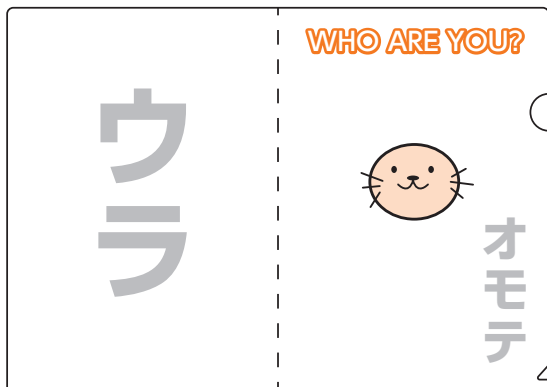
「表面にくるデザイン：紙を入れても見えるようにしたい部分」

「中面にくるデザイン：紙を入れたと見えなくなるようにしたい部分」

と考え、1で考えたデザインを分けます。

※レイヤーで分けて考えるとわかりやすいです。

## 表面にくるデザイン



山

紙を入れても見える

## 中面にくるデザイン

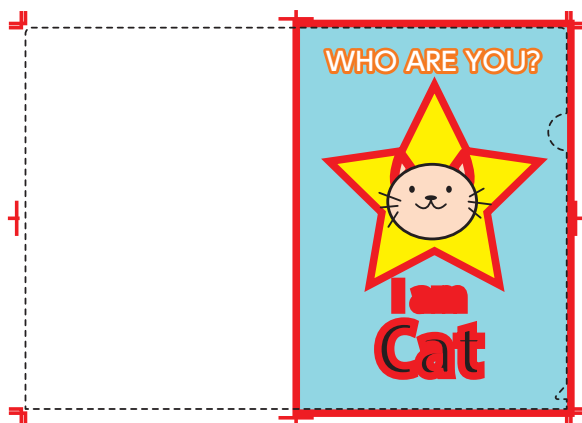


谷

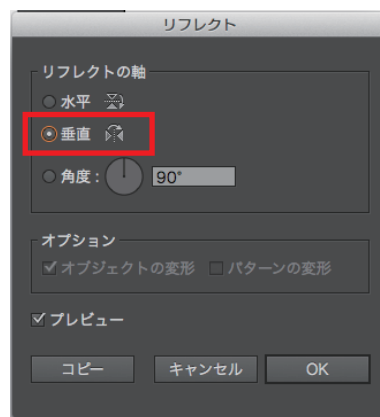
紙を入れたと見えない

3

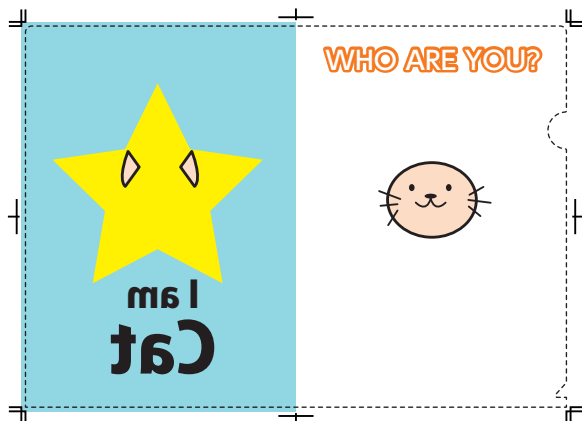
「中面にくるデザイン」とトンボを選択し、反転して裏面に配置します。  
「表面にくるデザイン」はそのままOKです。



※赤が選択した部分です。



オブジェクト→変形→リフレクト(垂直90度)



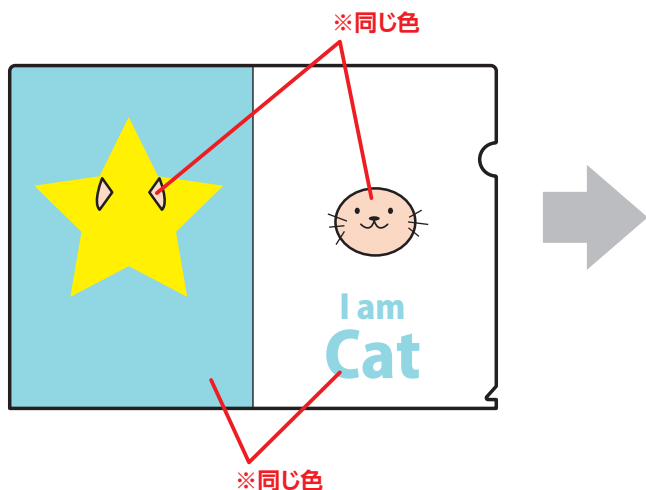
これで、カラーデータの完成です。

反転によって、絵柄や白版がズレていないか、よく確認してください。

※トンボで位置合わせをすることをおすすめします。

## デザインに関する注意点

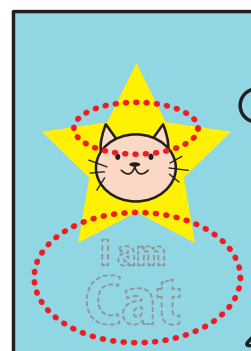
表面と中面は印刷条件が異なるため、CMYKの数値が全く同じ場合でも、表面と中面の発色は異なります。紙を抜いたときに表面のデザインが中面になじんで消えるデザインを作成されたい場合、パソコン画面のように完全になじまず、表面のデザインが見えてしまいます。このようなデザインをお考えの場合は、色校正にて色をご確認いただくことをおすすめいたします。



書類を入れた時



書類を抜いた時



※キャラクターの顔と耳の発色は異なって仕上がります。  
※画面では表面文字「I am Cat」が中面になじんでいますが、実際は表面文字が見える仕上がりとなります。